

令和4年6月 斐伊川水系水質情報

令和4年6月(宍道湖10日・中海17日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	4.2	△	平 年 並 み	3.0	○	良好(平年並み)	4.0	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0.32	○	良 好	0.27	○	良 好	0.30	○	良 好
全リン	上層	0.046	△	平 年 並 み	0.031	△	平 年 並 み	0.043	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	2.9	○	良 好	5.5	△	平 年 並 み	15	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	4,520	☆	かなり高い	14,400	×	やや高い	13,900	×	やや高い
	下層	4,600	×	やや高い	16,900	△	平 年 並 み	15,300	×	やや高い
溶存酸素	上層	8.0		やや低い	9.1		平 年 並 み	10.2		平 年 並 み
	下層	8.1		平 年 並 み	7.0		平 年 並 み	8.3		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4.0	横ばい	3.0	横ばい	4.1	横ばい
全窒素	上層	0.38	横ばい	0.32	やや下降	0.40	横ばい
全リン	上層	0.039	横ばい	0.024	横ばい	0.045	横ばい

宍道湖の透明度は2.0mから1.8mとやや下降しているが、良好を維持。中海の透明度はから3.3mから4.4mと上昇し、非常に良好。米子湾の透明度は2.0mから2.7mと上昇し、良好になっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

- 前月値±標準偏差値以上、以下の変化..... 上昇、下降
 注) 平均値±標準偏差値全体のおよそ68.2%
- 前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化...やや上昇、やや下降、横ばい
 平均値±標準偏差値の2倍...全体のおよそ95.5%
- 前月値±標準偏差値の1/2以内の変化...横ばい
 平均値±標準偏差値の3倍...全体のおよそ99.7%